

租税教育実践レポート

学習の個別最適化を用いた税の学習

登米市立米山中学校教諭 3学年 新沼 拓実

実施年月日：令和7年12月18日39名

1 実践計画・指導のねらい

本校の生徒は学習の理解度に大きな差があり、校内研究でも個別最適化について研究や実践を行っている。
 税の必要性や税に関する知識を身に付けさせること、財政の持続可能性を多面的・多角的に考察させることをねらいとし、調べ学習のテーマを複数設定し、自分の理解度に応じたテーマを生徒が選択できるように授業実践を行った。

2 単元構成・実際の指導状況（単元を通した全体の主な学習計画及び教師の指導）

時間	学習内容	主な発問（○）、こどもたちの反応（●）、使用教材等（□）
1	課題の確認と調べ学習・レポートの作成	<input checked="" type="checkbox"/> 3つのテーマの中から2つ選び、レポートを作成してください。 「なぜ税が大切なのか?」「税についての疑問などを調べ、まとめる。」「日本・県・登米市の歳入、歳出から1つ選んで、使い方の検討・提案をまとめる。」 ●自分の理解度や習熟度に応じて課題を選択していた。 <input type="checkbox"/> 国税庁 HP「税の学習のコーナー」、副教材「わたしたちのくらしと税金」
2	調べ学習・レポートの作成	<input checked="" type="checkbox"/> 自分が選んだテーマについて調べ学習を進めてください。 ●自分が選んだ課題について、タブレットを活用し、HPなどで調べていた。 <input type="checkbox"/> 国税庁 HP「税の学習のコーナー」 副教材「わたしたちのくらしと税金」
3	調べ学習・レポートの作成	<input checked="" type="checkbox"/> 自分が選んだテーマについて調べ学習を進めてください。 ●自分が選んだ課題について、タブレットを活用し、HPなどで調べていた。 <input type="checkbox"/> 国税庁 HP「税の学習のコーナー」 副教材「わたしたちのくらしと税金」
4	発表会	<input checked="" type="checkbox"/> 他の人のレポートを見て、参考になった点や良い点を付箋にまとめ、渡しましょう。 ●積極的に見て回り、コメントを書き合っていた。

【指導のポイント】<<1時間目>>

社会の学習に苦手意識を持っている生徒も理解が深められるよう、グループで調べ学習を行っても良いと指示した。

【指導のポイント】<<2時間目>>

机間指導を行い、レポートの作成の助言や質問への返答を行った。

【指導のポイント】<<3時間目>>

一人ずつレポートの確認を行い、進捗状況の確認や助言を行った。

【指導のポイント】<<4時間目>>

ギャラリーウォーク形式を用い、互いにレポートを見合わせた。苦手意識が強い生徒も理解が深まっていた。
 歳出について様々な提案や意見を確認できたので、見方や考え方が深まった。

3 実践の成果（◎）と課題（◆）

- ◎習熟度別の課題設定を行い、学習形態も自由にしたので、苦手意識が強い生徒も主体的な姿勢で学習に取り組むことができた。
- ◎国税庁 HP の「税の学習コーナー」が分かりやすく、財政や租税についての知識・理解を深めることができた。
- ◎歳入や歳出について考察を行ったので、現在の社会情勢や少子高齢化社会、宮城県や登米市の様子を踏まえ、多面的・多角的に考察する生徒が多く、社会的な見方・考え方が深まった。
- ◎「税の必要性」や「税についての疑問」をテーマとして設定したので、事後アンケートでは、約93%の生徒が「税の必要性を再認識した」と回答していた。また、「国や地方公共団体の歳入・歳出について考察する」というテーマも設定したので、税について考察する生徒も多数いた。
- ◆歳入・歳出の考察について、下位層の生徒の理解が進まなかった。説明や意見交流の時間をもう1時間設定した方がよかった。